

人事院総裁談話

令和7年8月7日

国家公務員は、国民の安全・安心な暮らしを守り、広い視野や使命感を持って国家を支える唯一無二の仕事をしています。

社会経済や国際情勢が激しく変化する中、世界に誇れる社会を作り、未来につなげていくためには、公務組織が、多様で優秀な人材が働きたいと思える「選ばれる場所」である必要があります。人事院はこれまで、採用試験の見直し、柔軟な働き方の推進、給与制度のアップデートといった人事制度のあらゆる面から改革を実施してきました。その成果として、総合職試験教養区分や一般職試験の申込者数が増加するなど、明るい兆しが見られます。

しかし、今後も激しい人材獲得競争が続く中で優秀な人材を確保するためには、改革を一過性のものにとどめることなく、新たなフェーズに進める必要があります。

人事院は、職員一人一人を大切な人的資本として捉え、その成長と挑戦を支えるための人材マネジメント改革に、スピード感を持って取り組みます。次の4つのポイントがその柱です。

まず第一に、「高い使命感とやりがいを持って働ける公務」を実現します。本年5月には、職員が日々の仕事に取り組む上で求められる行動を規範としてまとめた「国家公務員行動規範」を策定しました。職員が行動規範を意思決定のベースとすることにより、自己を規律し、イノベーティブな行動につながるよう、行動規範の職員への浸透を目指します。また、「公務のブランディング」として、公務の魅力を整理した上で、府省横断チームを中心に公務一丸となって、公務内への浸透と公務外への発信に一体的に取り組めます。

次に、優秀な人材をこれからも確保・定着させていくため、「実力本位で活躍できる公務」を実現します。特に、政策の企画立案や高度な調整等を担う職員を対象に、人材の獲得・リテンションに資する、新たな人事制度を検討します。また、給与体系を、年功的なものから、職務・職責をより重視した新たな制度へと転換を図ります。まずは令和7年度から、官民給与を比較する際の対象企業規模の引上げ、本府省の幹部・管理職員への手当の拡充、昇格に一定の期間を求める仕組み（在級期間表）の廃止などを先行して実施します。

そして、「働きやすさと成長が両立する公務」を実現します。長時間労働の是正、とりわけ月100時間などの上限を超える超過勤務の最小化に向けて、個々の職場の実情をくみ取った縮減策を示し、調査・指導の更なる強化を不退転の決意で進めます。また、職員の自己実現につながる自営兼業を可能とするとともに、職員の様々な事情に応じた無給の休暇の新設を検討します。カスタマー・ハラスメント対策や、職員の健康と安全を守る環境整備も進めます。加えて、職員の主体的な学びと成長を支援するため、国家公務員に求められる、すなわち公務職場で獲得できる能力をわかりやすく示すなど、職員のキャリア形成を後押しします。

さらに、「採用プロセスのアップデート」として、採用の仕組みを包括的に見直し、「誰もが挑戦できる開かれた公務」を実現します。受験者の利便性の向上や受験機会の拡大を図るため、CBT方式の採用試験を段階的に導入します。民間のWebテストの活用も視野に、まずは経験者採用試験での実現を目指します。また、インターンシップの採用選考における一層の活用、アルムナイ採用も含めた経験者採用制度の整備、技術系人材の確保に特化した採用ルート of 構築などの取組を進め、人材確保の裾野を更に広げます。

本日、人事院は、国会及び内閣に対し、国家公務員の給与の改定について勧告を行いました。

本年は、民間企業の賃上げの状況等を反映して、昨年を上回る高水準のベースアップとしました。全体では平均15,014円（3.62%）引き上げ、若年層に重点を置きつつ、中堅層以上の職員には、昨年を大幅に上回る引上げ改定を行います。これにより、本府省採用の総合職大卒は30万円を超える初任給となります。また、特別給は0.05月分引き上げ、年間4.65月分とします。

本年の勧告は、官民給与の比較対象の見直しもあり、俸給を引き上げ、諸手当の改善を行うものです。これらの見直しが優秀な人材の確保と職員のモチベーション向上につながり、これまで以上に、一人一人の国家公務員が、高いパフォーマンスを発揮することを期待します。

国会及び内閣におかれては、人事院勧告制度の意義や役割に深い理解を示され、勧告どおり実施されるよう要請いたします。

国民の皆さんにおかれては、新たな時代にふさわしい人材マネジメントに向けた改革の必要性に、深い御理解をいただければと存じます。

最後に、国民の生活と安全を守るため、全国各地で日々誠実に職務に取り組まれている国家公務員の皆さんに、心から敬意を表します。皆さんの不断の努力が、この国の未来を形づくる原動力です。ますますの御活躍を祈念いたします。